



令和 5 年 5 月 2 2 日 提出

請 願 書

瑞穂市議会 議長 様

学校給食費の無償化を求める請願

【請願趣旨】

コロナ禍のなか生活苦を抱える人も多く、昨年来の急激な物価高騰が市民生活に大きな打撃を与えています。とりわけ子育て中の若い世代の人たちへの影響は深刻です。一方、少子化の進行も深刻です。出生率は1.23まで低下しており、人口維持に必要とされる2.07を大きく下回っています。少子化対策としても、困窮する子育て世代への経済的支援が今まで以上に必要とされています。

そのような中で、小中学校の給食費を無料にする取り組みが全国260自治体（2023年1月現在）に広がっています。岐阜県内でもすでに山県市や岐南町、揖斐川町、垂井町が無償化し、隣の本巣市や羽島市も期間は限定ながら無償化に踏み切っています。

日本国憲法第26条において「義務教育はこれを無償とする」とされ、教育基本法第5条では「義務教育については授業料を徴収しない」ととされています。当初は自己負担だった教科書についても無償化されました。

学校給食法第2条に定めるように、「学校給食」は「食育」としての意義が大きく、教科学習とともに学校教育の大きな柱となっています。したがって、学校教育の大きな柱の一つである「学校給食」も無償化する必要があります。

瑞穂市の学校給食費無償化には3億円余りの予算が必要となりますが、瑞穂市の2021年度会計決算総額は、広報によれば十分な黒字

であり、財源確保は可能だと考えます。

以上のことから、私たちは、瑞穂市において子育てのしやすい街づくりをさらに進めるためにも、学校給食費無償化の実現を図ることを強く求め、日本国憲法第16条及び地方自治法第124条の規定により瑞穂市議会に対し賛同者 5913 名（5月22日現在）の署名を添えてお願いいたします。

【請願事項】

瑞穂市の学校給食費を無償化すること

請願者 住所 岐阜県瑞穂市
氏名 瑞穂市

代表

紹介議員

関谷 守彦